

おやつのはじめ3 -ちょっとひとやすみ-

—苦手なわけ—

NO. 99



「なかなか遊びが終えられなくて…」 「もうおしまいだよって言うと騒ぎだしちゃうんです…」
なんて話をよく聞きます。『切り上げの悪さ』ですね。「出かける時間までに準備をしてほしいのに、
いつまでもやろうとしなくて…」なんて話もありますね。『時間に合わせようと思わない』『急がない』
姿です。今やスタンダードになっている対応（実物やカードを見せる予告）でも上手くいかないこ
とは多いと思います。たまにならば、「今日はしょうがないか」ですが、毎日となると、なかなか
しんどいですね。今回は、切り替え場面が苦手な理由と関わり方について、少し整理してみます。

① 『終わりがない』

「遊びが終えられなくて…」まさにその通りの子がいます。遊びきれないことが多く、「できた」
「やった」「ハイ、次ね」といった展開を味わいにいと、しっかり終われません。あんずの支援
でもポイントにしていますが、“終わり”が次の“始まり”になるような流れを、どこかで経験し
ていきましょう。例えば、型はめやパズルのように終わりがはっきりしているものもいいですね。
これを経験したらか、すぐに切り替えが早くなるわけではありませんが、気持ちよく切り替えられ
る経験は重ねていくことができます。

② 『遊び込めていない』

「あ～おもしろかった」と感じるまで遊び込めなかったり、何かに熱中して取り組んだことが少
なかったりすると、満足点がないので、未消化のままメリハリがなく時間が過ぎていきます。まずは
同じことを繰り返す楽しみが見つかるといいなと思います。何度も何度も繰り返しているうちに、
少しお腹いっぱいになる瞬間があるものです。そこが切り上げポイントになりやすく、次のことに
誘いやすくなります。子どもの目の高さに一度降りて、しゃがんで少し付き合うことで、遊び込む
ことをサポートできるかと思います。

③ 『まわりが見えない没頭タイプ』

何かに没頭してまわりが見えていないと、「急にやめろと言われても、聞いてないよ」と思って
しまうかもしれません。「まだ遊んでていいけど、もう少ししたら ごはんだよ」などと、少し前に
声をかけておくことも有効です。声をかけた時には切り替えられなくても、今していることは中断
されないの、柔らかい気持ちで“何か言われた”と感ずることができ、少しそのつもりになるこ
とができます。「今夜のおかずは〇〇だよ」なんて、ちょっと見せるのもいいかもしれません。

④ 『段取りが見えない』

準備や身支度は、いろいろな別々な行為の集まりです。ひとつひとつのことはこなせても、まと
まった行動としてとらえるのが苦手な子がいます。着替えを並べておいたり、カゴにまとめておい
たりすることで一目瞭然になり、取り組みやすくなります、できたことにOKも出しやすいです。

「やればできるんだから、やってよね！」と言いたくなるかもしれませんが、理由を探って、
どこに手を貸せばよいか一緒に考えていきましょう。なかなか一筋縄ではいきませんけどね。
人ですから。日和見ですから。こっちの気分もありますから。 (R6. 8) K

